

日本ボランティア学会福岡フォーラム  
**共生への課題と挑戦 - 社会的排除と市民活動-**  
 (播磨靖夫講演と意見交換会)

グローバル化が進むなかで、競争原理がもたらす効率性や合理性の追求は、「勝ち組」「負け組」といった社会的格差を生みだし、今や人間は搾取の対象ではなく排除の対象となったといわれています。

近年、社会変化が加速するにつれ、「社会的排除」は、これまでの固定的な社会関係や経済構造だけでなく、人間の生存に関わる広い範囲にまで及んできています。こうした「社会的排除」は、社会の不安定化を招き、社会の変革の障害となっています。このような状況において、社会に参加する方法やその選択肢を増やし、一人ひとりの可能性に向き合い、これをエンパワメントすることが求められます。そのために、多様な市民活動の果たす役割は小さくありません。多様であることに美や幸福を感じられるような共生社会を構築していくために、社会的排除の解決に向けて取り組んでいる市民活動から学びます。(東京と大阪では連続講座が開催されています)

\* 今回、播磨さんは「エイブル・アートリンク 06 のフォーラム」で <http://www.ffac.or.jp> 来福されます。

日時 2006年10月6日(金) 19:00 - 21:00

場所 福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」

福岡市中央区大名2-6-46 青年センター5階 TEL:092-724-4801

(地下鉄天神駅下車約4分、バス「西鉄グランドホテル前」下車約1分) 地図 <http://www.fnvc.jp/access.html>

プログラム

1 講演 - 社会的排除と市民活動-



播磨靖夫 (財)たんぼぼの家理事長、(特活)日本NPOセンター代表理事。  
 (プロフィール: 社会福祉法人わたぼうしの会理事長、エイブル・アート・ジャパン常務理事、日本NPOセンター代表理事、日本ボランティア学会副代表、アートミーツケア学会常務理事。新聞記者を経てフリージャーナリストに。障害のある人たちの生きる場「たんぼぼの家」づくりを市民運動として展開。アートと社会の新しい関係をつくる「エイブル・アート・ムーブメント(可能性の芸術運動)」を提唱。また、ボランティア活動など民間非営利セクターの形成を通じた新しい市民社会づくりを試みている。編著書に『共貧共存の思想』、『みんな同じ空の下に生きている』、『知縁社会のネットワーク』、『生命の樹のある家』ほか。

2 福岡の実践報告 (交渉中)と意見交換会

参加費 (資料代) 一般 1,000 円、学生 500 円(当日申し受けます) 学会員は無料  
 終わってから播磨さんを囲んで懇親会(実費)を予定していますので、希望者はご参加ください。

主催 日本ボランティア学会・国際多文化共生研究所

事務局・連絡先 国際多文化共生研 (角正信) 〒811-1111 福岡市早良区脇山1-15-12

E-mail: Sumi3Ngo@aol.com TEL: 090-5925-1940 TEL & FAX: 092-804-2632

日本ボランティア学会福岡フォーラム 2006.10.6 参加申込書 出席 懇親会参加  
 国際多文化共生研 宛 E-mail: Sumi3Ngo@aol.com または FAX: 092-804-2632

(ふりがな) 氏名		種別	性別 年齢	男 ( )	女 )歳代
(ふりがな) 住所	〒				
電話 FAX		E-mail アドレス			
所属	(所属団体、勤務先、学校名など差し支えない範囲で)				

\* 通信欄

## エイブル・アートリンク・フォーラム

事務局 文化芸術情報館アトリエ

〒812-0027 福岡市博多区下川端町 3-1 博多リバレイン地下 2 階 (財)福岡市文化芸術振興財団内  
TEL:092-281-0081 FAX:092-281-0114 E-mail: plaza-a@ffac.or.jp URL: http://www.ffac.or.jp

現在ギャラリーで開催中の「エイブル・アート・リンク 2006」展関連企画として、フォーラムを開催します。障害のある人とアーティストがペアになり、共同で作品を制作するプロジェクト「アートリンク」について、実施団体の担当者や参加アーティストが語ります。

日時: 10月7日(土) 13:30~15:30

会場: あじびホール(福岡アジア美術館 8 階)

料金: 無料 定員: 100 名

話し手: 播磨靖夫(エイブル・アート・ジャパン常務理事) 岡部太郎((財)たんぼぼの家スタッフ)

田野智子(ハート・アート・おかやま事務局) 花田洋通(参加アーティスト)

郵送: 〒812-0027 博多区下川端町 3-1 博多リバレイン地下 2 階 文化芸術情報館アトリエ

## 財団法人たんぼぼの家

事務局 〒630-8044 奈良市六条西 3-25-4

TEL(0742)43-7055 FAX (0742)49-5501E-mail: tanpopo@popo.or.jp URL: http://popo.or.jp

障害のある人たちの自立援助サービスセンターをつくるために 1976 年に設立が認可され、施設運営と共生社会づくりを並行してすすめてきました。1987 年社会福祉法人わたぼうしの会の設立認可にともなって施設運営を同会に移譲しました。現在は、アートを通して障害のある人たちの自己表現を支援し、豊かな関係性(ケア)のある社会像を提案しています。国内はもとより海外へネットワークを広げ活動を展開しています。

主な事業 わたぼうしムーブメント、エイブル・アート・ムーブメント、ケアの文化プロジェクトほか

## 日本ボランティア学会

事務局 〒630-8044 奈良市六条西 3-25-4 財団法人たんぼぼの家内

TEL0742-43-7055 FAX 0742-49-5501 E-mail: vgakkai@popo.or.jp URL: http://popo.or.jp/vgakkai

この学会は、人間の回復を渴望する人々の聞こえない声に耳を澄まし、「細部に神宿る」まなざしを見失わず、社会的に排除された人々の「存在の現れ」の実践に連係していく、そして「最大多数の最大幸福」という功利主義の原理を横滑りに入れていく社会の多数派の考え方に対して、「すべての人間の幸福」(ガンジー、宮澤賢治)というもう一つの視座を見出していき、開かれた場としての学会にしてゆきたいと考えています。人間回復と多声的な共生社会の構築というささやかな大事業に協働する喜びを共にされることを切に望みます。

(日本ボランティア学会呼びかけ文 より抜粋)

## 国際多文化共生研究所

事務局 〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12

TEL 090-5925-1940 FAX: 092-804-2632 E-mail: Sumi3Ngo@aol.com URL: http://ngo3gimc.nngo.jp

地球的規模の諸課題(貧困、開発、環境、教育、人権等)を多様な文化の理解と共生の立場で解決する事例に取り組む諸活動を、調査、研究、支援しています。特に現地の「衣・食・住・教育・宗教・文化政経・他国地域との交易・協力支援の方法」などの視点で、情報収集・交流・協力を行っています。直接海外への国際協力に参加したい方は、目下 Bangladesh プロジェクトの「チャンドラゴーナ会(Bangladeshの人々と共に歩む宮川医師夫妻を支える会)」への支援をお願いしています。URL: chandranet.nngo.jp